

## オシュ州における医療機関の視察



4月12～13日、前田大使はオシュ州に出張し、平成29年度対キルギス無償資金協力「母子保健強化計画」（UNICEF 連携）の支援を受けた、ノーカット地区総合診療センター及びオシュ州地域連携臨床病院を視察しました。

「母子保健強化計画」は、医療機材の供与、医療施設の改修、医療従事者の能力向上、遠隔診療制度の導入等の活動を通じて、キルギスの母子間に存在する医療格差の低減を目的とした案件です。日本政府は2014年から2017年まで第1フェーズ、2018年から本年3月まで第2フェーズを実施し、合計約613万ドルを支援しています。

ノーカット地区総合診療センターは、周辺地区も含め人口30万人の医療拠点であり、年間5,000件の分娩を取り扱います。本案件では同病院に医療機材及び設備改修を支援するとともに、同地区に所属する家庭医に対し、都市部の専門病院との遠隔診療システムを供与することで、地方部住民が質の高い医療を享受することを可能にしました。

オッシュ州地域連携臨床病院は年間9,000件の分娩を取り扱い、その85%は地区レベルの医療施設から紹介された、リスクの高い分娩です。同病院に対しては新生児用の医療機器が供与されるとともに、ハイリスク分娩を取り扱う医療従事者の研修が実施されました。

(了)